

分野		科目名		配当年次		開講期	
専門基礎分野		臨床薬理学Ⅰ		1 年次		後期	
単位数		時間		担当教員		実務経験の有無	
1 単位 (15 時間)		6 時間		滝川市立病院 薬剤師		有	
		2 時間		大学 准教授		有	
		2 時間		滝川市立病院 薬剤師		有	
		6 時間		滝川市立病院 薬剤師		有	
授業 の 概要		現代医学における薬物療法の基礎について学び、代表的な疾患の特徴と薬剤の作用機序・特徴・副作用を理解する。					
到達 目標		1. 薬が作用するしくみと体内での薬物動態を理解する。 2. 代表的な疾患と薬の作用の関連を理解する。 3. 薬効、副作用などを患者に説明する際の表現方法を身に付ける。					
授業 計画		No.	授業内容			授業方法	備考
		1	薬理学とは何か。 薬物療法における看護師の役割、薬看連携			講義	薬剤師
		2	薬が作用するしくみ（薬物動態） 小児・妊産婦・高齢者の薬物療法			〃	大学 准教授
		3	外用剤、白内障の治療薬			〃	薬剤師
		4	消化器に作用する薬			〃	薬剤師
		5	高血圧の治療薬、点滴と水分管理			講義・GW	薬剤師
		6	脂質異常症と動脈硬化疾患の治療薬			〃	
		7	糖尿病の治療薬			〃	
		8	骨粗鬆症の治療薬、手術と薬			講義	薬剤師
評価		筆記試験 100 点					
参考 文献		臨床薬理学 系統看護学講座：医学書院 今日の治療薬					
備考							